

景観まちづくりの方針

1. 景観まちづくりの基本目標

景観まちづくりの課題をふまえ、区民、事業者、区が一体となって、協治（ガバナンス）の理念のもと、目指すべきすみだの景観まちづくりの基本目標を設定します。

（1）景観まちづくりの基本目標の設定

墨田区は江戸時代からの多くの歴史的資源が継承されたなかで、息づく粋な心、人と人の距離感や親密さ等、下町らしさが個性であり誇りとなっているまちです。また大河川と江東内部河川により構成される水と緑に恵まれた自然景観は、すみだのまちを特徴づける大きな要素であり、市街地に潤いを与えるものとなっています。歴史・自然、そして人々の営みにより形成されているすみだの個性を活かし、継承し発展させていく景観まちづくりが求められます。

一方で、新タワーによる新たにつくりだされる景観は、すみだのまちの魅力を広く発信するものとなります。すみだのまちの魅力を区民ばかりでなく、国内外の人々と共有する開かれたもてなしの心にもとづく、世界に誇れる景観まちづくりが求められます。

また、「人が輝く いきいき すみだ」づくりに向けて、人々やまちの活気ある活動による変化をふまえながら、豊かな生活の場として親しみとやすらぎのある景観まちづくりが求められます。

さらに、これらの景観まちづくりを進めるにあたって、協治（ガバナンス）の考え方にもとづいて進めていくことが基本です。

これらをふまえて、区民、事業者、区が共有して目指すべき目標として、4つの景観まちづくりの基本目標を設定します。また、この4つの基本目標にもとづくすみだの景観まちづくり像(テーマ)を設定します。設定にあたっては、区民と国内外の人々と共有する重要な要素を「水辺と歴史」、「下町情緒」として表現します。

景観まちづくりの基本目標

- 歴史と自然を活かした下町らしい個性豊かな景観まちづくり
- 区民が世界に誇れるおもてなしの心を育む風格ある景観まちづくり
- 生活の場としての親しみとやすらぎのある景観まちづくり
- 区民等とともに考え・創成するすみだらしい景観まちづくり

景観まちづくり像(テーマ)

「水辺と歴史に彩られ、下町情緒あふれる
“すみだ風景づくり”」

(2) 景観まちづくりの基本目標別内容

歴史と自然を活かした下町らしい個性豊かな景観まちづくり

- ・ 区域を縁取り、区内を縦横に流れる大小の河川、江戸からの歴史のなかで形成されてきた南北の特徴ある市街地等、すみだの水と緑・まちの特性と成り立ちを大切にしたい、個性ある景観を形成していきます。
- ・ これまで継承されてきた下町らしい風景、江戸からの文化を伝える豊かな歴史・文化的資源等、墨田区の豊かな景観特性や景観資源をこれからのまちづくりにも継承し、個性豊かな街並み景観を形成していきます。



<すみだらしさを伝える墨堤の桜>

区民が世界に誇れるおもてなしの心を育む風格ある景観まちづくり

- ・ 新タワー周辺の開発により、墨田区は、わが国の新しい情報発信拠点の一つとなり、かつ観光拠点として世界から多くの人が集まる場所となっていきます。このため、新タワー及びその周辺や錦糸町・両国等の拠点となる地区を中心として、開かれたおもてなしの心にもとづいて、墨田区を訪れた人々に感銘を与え、統一感と品格を持ったまちの姿をつくりだしていきます。
- ・ それぞれの地区や通りの特性に応じて、すみだの歴史や文化を広く発信し、活発な交流が生まれる場としての魅力を育てていきます。



<新タワーのイメージと区役所>
(提供：東武鉄道(株)・新東京タワー(株))

生活の場としての親しみとやすらぎのある景観まちづくり

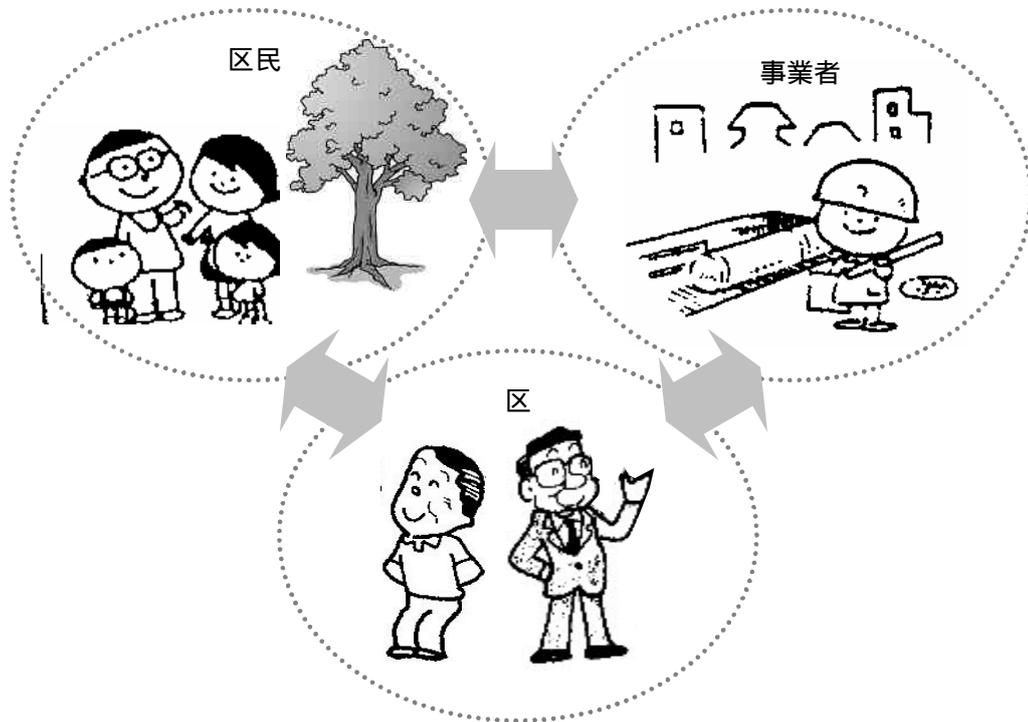
- ・ 季節を感じる潤いとやすらぎのある空間、これまで先人が育んできたふれあいのある暮らし、それらを支えてきた街並みや地形的特徴等、親しみやすらぎのある景観を継承していきます。
- ・ 防災性の向上やより多くの人々が利用しやすいユニバーサルデザインへの配慮、緑の充実を図ることにより、「わがまち」への愛着を高め、安心・安全で、より質の高い景観を形成していきます。



< 潤いある住宅地 >

区民等とともに考え・創成するすみだらしい景観まちづくり

- ・ 協治（ガバナンス）の考え方にもとづき、区民、事業者、区が、それぞれ主体的にまちと関係を持って景観まちづくりに継続的に取り組んでいきます。



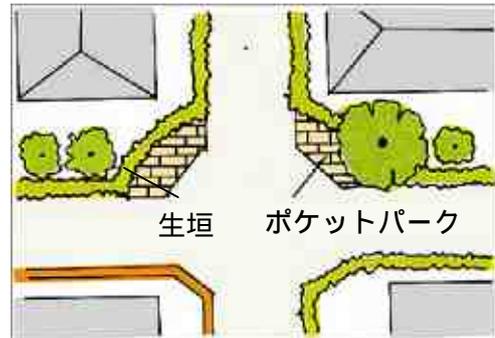
2. 景観まちづくりの基本方針

景観まちづくりの基本目標に沿って、以下の基本方針を設定し、景観まちづくりに取り組みます。

都市的自然(水辺、公園、緑)を保全し、まちづくりに活かす

河川で縁取られる区域、区内を縦横に流れる江東内部河川、点在する拠点的な緑(公園等)や玄関先の植木や生垣等の身近な緑が、区内の自然的景観の特徴となっています。このことから、こうした水辺と緑との一体性、連続性を高めるとともに、身近に自然が感じられる緑の保全・創出を図ります。

- ・ 広々とした河川や庭園など、広がりのある景観を活かします。
- ・ 自然そのものを残し、手入れをするなど、今ある自然の質を向上します。
- ・ 河川とまちを動線や連続性のある空間とするなど、自然とまちの際をつなぎます。
- ・ ポケットパークや親水空間をつくりだすなど、まちに自然を取り込みます。



<都市的自然をまちづくりに活かす工夫>

新しいまちづくりと連動・調和して質の高い空間を創出する

区内の地形は平坦であることから、大規模建築物等では、すみだの個性や特徴ある街並みをつくりだす等、良好な景観形成を図ります。特に、新タワー及びその周辺や錦糸町・両国等の拠点となる地区では、市街地の整備と連動した質の高い景観を創出していきます。

- ・ 通りやオープンスペースなどの公共空間の質を高めます。
- ・ 拠点となる地区をにぎわいやもてなしの空間として活かします。
- ・ 新タワーを眺める景観と新タワーから眺められる景観の創出をふまえ、美しい一体性のある市街地景観を形成します。
- ・ 大規模建築物や高架構造物を周辺の街並みになじませます。
- ・ 橋と橋詰を一体的に水辺空間を楽しむ場として活かします。
- ・ 先導的に公共建築の質を高めます。
- ・ 案内・誘導システムを構築します。



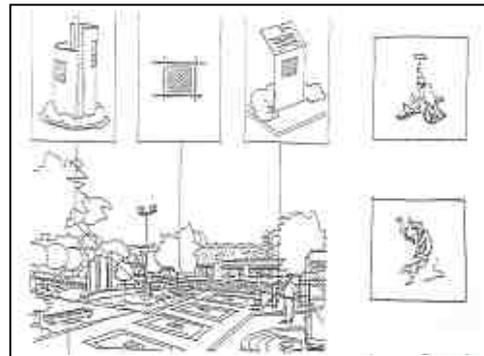
<通りの景観整備のイメージ>

これまでに培われてきた歴史・文化をまちに表現する

江戸から平成へと連綿と続く歴史や培われてきた文化を伝える数多くの歴史・文化的資源の保全と活用を図り、個性ある景観形成を図ります。

また、人々のふれあいのある暮らし、それらを支えてきた街並みを尊重した景観形成を図ります。

- ・歴史・文化的資源を保全・活用します。
- ・まちの歴史資源や地名、事柄を案内板などにより伝えていきます。
- ・まちの伝統・文化を個性ある街並みのデザイン要素等として、継承・活用します。
- ・人々のふれあいや活気のある暮らし、それにより形成される街並みを尊重します。



<まちの伝統・文化を伝える工夫>
(出典: すみだ風景づくり)

区民、事業者、区が一体となって、継続性のある景観まちづくりに取り組む

多様な主体と連携しながら、協治（ガバナンス）の視点にたって、区民、事業者、区が一体となり、それぞれの責務を果たしながら景観まちづくりを進めます。

- ・区民の主体的な参加を促し、地域ごとのきめ細かな景観まちづくりを進めます。
- ・事業者の景観形成への理解と地域への貢献により、区民、区との協力体制を進めます。
- ・区の主体的な景観まちづくりを充実するため、区は景観形成に関わる施策や事業を積極的に推進します。



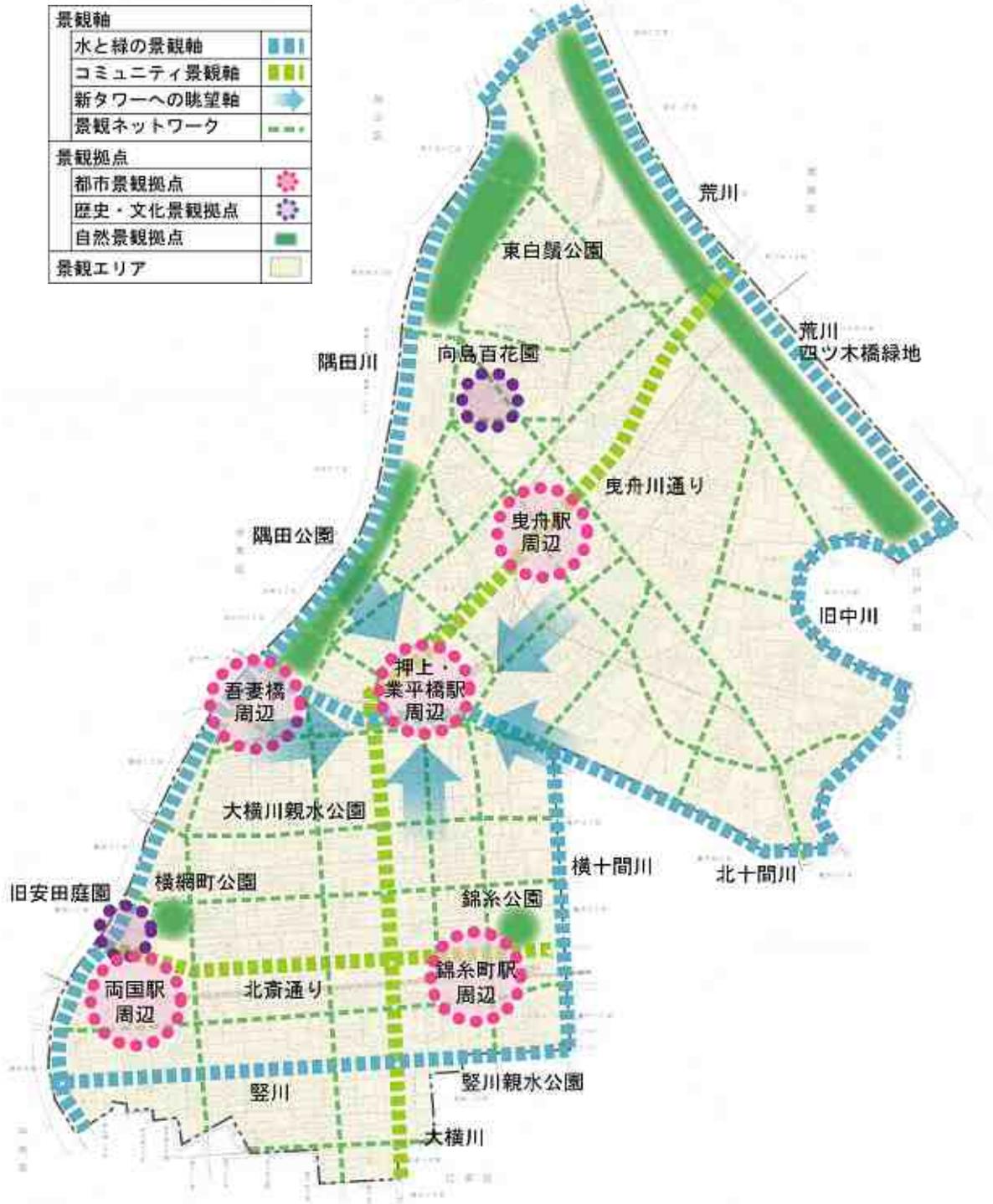
<区民による花壇の整備>

3. 景観構造別の景観まちづくりの方針

(1) 景観構造の設定

景観まちづくりの基本方針を実現していくため、墨田区の景観特性にもとづいて景観軸、景観拠点、景観エリアの区分による景観構造を設定します。

図 -1 景観構造図



景観軸

墨田区の都市構造を形成する河川や道路の線的骨格について、区全体の秩序ある景観形成や地域間の連携・調和の取れた景観形成を図るものを景観軸とします。

水と緑の景観軸 ■■■

隣接区との境界を流れる大河川や江東内部河川について、広く人々が水辺や眺望を楽しむ骨格として景観形成を図るものを水と緑の景観軸とします。



< 隅田川 >

コミュニティ景観軸 ■■■

ふれあいやにぎわいのある通りや親水公園について、地域間の連携や調和のとれた景観形成を図るものをコミュニティ景観軸とします。



< 大横川親水公園 >

新タワーへの眺望軸 →

新タワーへの眺めを確保すべき通りや河川について、すみだの新たな魅力を広く発信する景観形成を図るものを新タワーへの眺望軸とします。



< 通りの眺望景観のイメージ >

景観ネットワーク - - -

区内の景観資源を連携する主要な道路について、地域の特性を活かした景観形成を図るものを景観ネットワークとします。



< 街並み形成のイメージ >

景観拠点

墨田区の都市構造を形成する駅周辺や大規模公園等の拠点について、墨田区を特徴づけるとともに人々が共感できる景観形成を図るものを景観拠点とします。

都市景観拠点 ■

人々の交流や都市活動の拠点となっている駅周辺等について、人々の交流や都市活動の舞台にふさわしい景観形成を図るものを都市景観拠点とします。



< 錦糸町駅前のイメージ >

歴史・文化景観拠点 ■

墨田区のイメージを形成する歴史・文化的資源を有する大規模公園等について、潤いや人々の交流の場にふさわしい景観形成を図るものを歴史・文化景観拠点とします。



< 向島百花園 >

自然景観拠点 ■

豊かな緑に恵まれた大規模公園や緑地等について、緑を活かした潤いある景観形成を図るものを自然景観拠点とします。



< 隅田公園 >

景観エリア

面的に広がる市街地について、歴史・文化ゾーン、一般市街地ゾーン、駅前ゾーン、商店街ゾーン等、それぞれの地域の特性に応じた景観形成を図るものを景観エリアとします。なお、これらの具体的なゾーン区分については、今後の地域のまちづくりとあわせて設定していきます。



< 歴史・文化を基調とした街並みのイメージ >

(2) 景観軸の景観まちづくりの方針

墨田区の都市構造は、区の境界部の大部分が隅田川・荒川・旧中川により縁取られ、これらは広域的な景観構造ともなっています。また、区の内部の江戸期に開削された堀割が各地域をつなぐ特徴ある水辺景観を形成しています。

また、大横川親水公園と曳舟川通りは本所・向島を貫く江戸時代の流通の軸として、北斎通りはかつての堀割として、歴史を伝える性格を持ちながら区内のまちや交流をつなぐ軸を形成しています。これらを軸として、個性と魅力ある景観まちづくりを図ることが重要です。

平成24年春にオープンする新タワーは墨田区内外から眺められるようになり、墨田区のランドマークとなることが予想されます。このため、新タワーへの眺望や新タワーを背景に持つ街並みを貴重な景観資源として、景観まちづくりに活かす必要があります。

さらに、区内には、数多くの個性的な景観資源が点在しており、これらの景観資源を区内の道路ネットワーク等をふまえて連携し、景観まちづくりに活かすことが重要です。

以上をふまえ、水と緑の景観軸、コミュニティ景観軸、新タワーへの眺望軸、景観ネットワークについて、以下を対象として、それぞれの特性に応じた景観まちづくりを進めます。

分類		対象
水と緑の景観軸	ア．隅田川・荒川軸	隅田川、荒川
	イ．旧中川軸	旧中川
	ウ．北十間川・横十間川軸	北十間川、横十間川
	エ．竪川軸	竪川、竪川親水公園、竪川第一公園
コミュニティ景観軸	ア．北斎通り軸	北斎通り
	イ．大横川親水公園・曳舟川通り軸	大横川親水公園、大横川、曳舟川通り

分類	対象(候補)
新タワーへの眺望軸	(南側 新タワー) 四ツ目通り、(仮称)新タワー通り、大横川親水公園等 (東側 新タワー) 北十間川、北十間川沿い道路等 (北東側 新タワー) 押上通り、曳舟川通り等 (北西側 新タワー) 言問通り、桜橋通り等 (西側 新タワー) 北十間川、浅草通り等

分類	対象
景観ネットワーク	(商店街、旧道等) 大正通り～玉の井いろは通り、向島百花園南側通り、八広はなみずき通り、地藏坂通り～曳舟たから通り、鐘ヶ淵通り、見番通り、向島橋銀座商店街通り、鳩の街通り (幹線道路等) 水戸街道、京葉道路、四ツ目通り、三ツ目通り、清澄通り、浅草通り、明治通り、押上通り、墨堤通り、春日通り、蔵前橋通り、新大橋通り、言問通り、桜橋通り、小梅通り、丸八通り、(仮称)新タワー通り、北十間川南側道路

水と緑の景観軸

ア．隅田川・荒川軸

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

隅田川、荒川と河川沿いの区域を対象として、区外を含めた広域の街並みに配慮しつつ、河川とまち・人をつなげ、広がりと連続性のある河川景観を形成します。



【景観形成の方針】

墨堤の桜並木の適切な維持・保全と自然生態系の再生の促進

- ・墨堤の桜並木を後世まで伝えることができるよう、これからも十分な管理を行います。
- ・河川沿いの並木等、豊かな緑の形成を図ります。
- ・河川空間における自然生態系の再生を図り、自然観察等の教育・学習や自然に触れ合う活動やイベントの場としての活用を図ります。

眺望を活かした川辺景観形成の誘導

- ・川辺のレクリエーションスペースとして、川らしい開放感のある空間の持ち味を活かした、建築物・土木構造物の形態・意匠の誘導を図ります。
- ・人々の印象に残るようなスカイラインを持った街並み景観の形成を図ります。
- ・川の流れに沿って軸上に変化する景観の魅力を増すよう、建築物や土木構造物の形態・色彩等の連続性に配慮し、屋外広告物等の適正な誘導を図ります。また、アイストップとなる樹木を配置する等、変化と魅力をもつ景観形成を図ります。

河川沿いの市街地等における緑化等の促進

- ・河川沿いの市街地では、水辺の豊かな緑を活かすとともに、街路樹や宅地内の身近な緑を増やす等、潤いある市街地景観の形成を図ります。
- ・堤防では、市街地側の緑化等により、巨大な構造物の印象を和らげ、親しみやすい景観形成を図ります。
- ・工場街に接する川辺では、豊かな緑の創出等により、潤いに満ちたりフレッシュできる景観形成を図ります。

水辺と市街地をつなぐ空間及び動線の整備

- ・周辺の公園や市街地と水辺をつなぐ動線を出来るだけ多く確保するとともに、動線となる通り沿いでは、日常的に人々が憩い、眺めを楽しむ場となるよう、親しみのある街並みの景観形成を図ります。
- ・荒川は、防災不燃化、区画整理、都市再開発等のまちづくりや、スーパー堤防整備等の事業とあわせて、川とまちとが融合して川が身近なものとなるよう、動線の整備や空間形成を図ります。
- ・大きな工場、倉庫群に接する川辺は、すみだらしい景観のひとつとして、個性的で良好な景観形成を図ります。

<p>高速道路における周辺景観との調和の促進</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・高架構造物の修景を推進し、河川や河川沿いの街並みとの調和を図ります。また、公園利用等、高速道路下の再整備を検討します。 ・水辺と市街地の大きな分断要素となっている高速道路について、長期的な観点から地下化等を検討し、高規格堤防とともに整備することを目指します。
<p>高架下の活用等による河川の連携の向上</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・隅田川と北十間川の連携や、水辺と市街地との一体性を高めるため、北十間川沿いの東武鉄道高架下の活用を検討します。また、整備や管理の主体の異なる各種の公共施設の整備と適切な誘導が必要であるため、各整備主体により総合的な検討調整を図ります。
<p>それぞれの場所にふさわしい表玄関や視点場となる橋等の景観形成の誘導</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・各橋の周辺では、橋・橋詰・河川沿いが調和した街並みの景観形成や、橋上からの良好な眺望景観の形成を図ります。また、橋ごとの特性を活かし、それぞれの場所にふさわしい表玄関となる景観の創出を目指します。 ・川辺に点在する管理施設は、緑化や外壁面のデザインの配慮等により、川辺の景観との調和を図ります。
<p>隅田川における回遊動線の整備</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・両国や桜橋周辺の歴史・文化的資源の多い地区に接する川辺は、旧安田庭園における潮入の再生等、歴史や文化を活かした景観形成を図ります。 ・社寺仏閣等の古くからの資源と公園等の比較的新しい資源をつなぐ歩行者空間の整備、墨田区ゆかりの著名人等の要素も加えた観光資源の発掘等により、隅田川によって連携して回遊できる空間の形成を図ります。
<p>駅周辺等のおもてなしにふさわしい景観形成の誘導</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・八広駅や両国駅は河川の入口として、人を迎えるにふさわしい観光拠点性のある景観形成を図ります。



< 隅田川 >



< 吾妻橋周辺の将来イメージ >
 (出典：隅田川水辺空間等再整備構想)

イ．旧中川軸

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

旧中川と河川沿いの区域を対象として、花や緑が楽しめる、潤いやにぎわいある都会のオアシスとして、生態系等に配慮しながら、季節を感じることができる景観まちづくりを進めます。

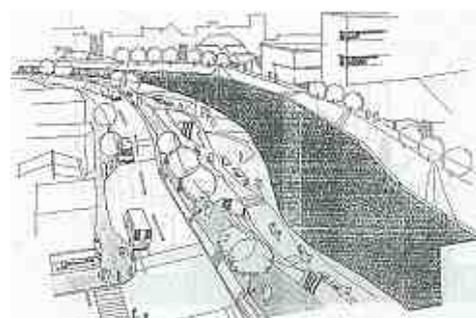


【景観形成の方針】

川の眺望と調和した川辺景観形成の誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・河川空間の開放感を失わせないために、河川沿いの市街地では、河川に近いところほど建築物等の高さを低く押さえ、個々の建築物が川にファサードを向け、伸び伸びとした川辺のレクリエーションスペースとなるよう、広がりのある眺望を活かした景観形成を図ります。 ・橋や管理施設、大規模施設等と水辺とが調和した景観形成を図ります。また、建築物等の色彩や屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
河川沿いの公共空間の緑化等の促進
<ul style="list-style-type: none"> ・河川沿いの道路やデッキ上に、やすらぎや親しみを感じられる身近な緑を配置します。 ・貴重な自然的資源であることを認識し、生き物が棲み、緑の豊かな川辺の自然再生を図ります。
まちづくりと連動した水辺と市街地をつなぐ空間整備の誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・旧中川の河川沿いの水辺に親しめる歩道は、周辺の道路の街路樹や歩道との連続性を高め、まちなかへ自然的環境をつなげていきます。 ・工場の多い地区では、その大きな壁面の色調、素材、ファサードの輪郭、デザイン等と周辺の街並みとの調和を図ります。
街並みのアクセントや印象的な橋等の景観形成の誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・橋や橋詰空間は、人が憩い、川に近づきたくなるような景観形成や、広がりのある眺望景観の確保を図ります。 ・橋の整備にあたっては、河川空間と調和しつつ、個性ある景観形成に資するデザインを図ります。
印象的な川辺の添景の創出
<ul style="list-style-type: none"> ・川辺に点在する川辺管理施設は、河川空間と調和した景観形成を図ります。
河川沿いのまちの歴史・文化的資源の保全・活用の促進
<ul style="list-style-type: none"> ・大正民家園、白髭神社等、歴史・文化的資源等を活かした旧中川沿いの回遊動線の形成を図ります。
河川沿いのまちの歴史をとどめる取り組みの促進
<ul style="list-style-type: none"> ・旧中川の歴史性や、現在に伝えられた橋の名前等を地区の個性として大切に景観形成を図ります。



<旧中川のレクリエーション空間>



<沿川の緑と街なかの緑がつながる親水護岸イメージ>
(出典：すみだ風景づくり)

ウ．北十間川・横十間川軸

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

北十間川、横十間川と河川沿いの区域を対象として、地域の歴史や文化を反映した、魅力的な親水空間の創出と観光交流を促す景観まちづくりを目指します。



【景観形成の方針】

川の眺望と調和した川辺景観形成の誘導

- ・河川空間の開放感を失わせないために、河川沿いの市街地では、河川に近いところほど建築物の高さを低く押さえ、個々の建築物が川にファサードを向け、伸び伸びとした川辺のレクリエーションスペースとなるよう景観形成を図ります。
- ・橋や管理施設、大規模施設等と水辺とが調和した景観形成を図ります。また、建築物等の色彩や屋外広告物等の適正な誘導を図ります。

河川沿いの公共空間における緑化等の促進

- ・河川沿いの道路やデッキ上に、やすらぎや親しみを感じられるよう、水辺を意識できる樹木や季節感のある落葉樹を配置し、水辺に美しく映える植栽を連続させます。また、単調な堀割水路を分節し変化を与えるよう、地区ごとに植栽の変化を与え、水辺の緑によりまちを特色づけることも検討します。

まちづくりと連動した水辺と市街地をつなぐ空間整備の誘導

- ・北十間川・横十間川のイメージを象徴し、地域景観に活かすため、水辺とまちとの接点となる拠点の創出を図ります。特に、北十間川は橋詰広場や体験学習施設等の公共施設や店舗・ギャラリー等の拠点の創出を図り、河川沿いには歩行者デッキを整備し、都市機能を水辺に連続させます。
- ・押上・業平橋駅周辺(すみだ中央エリア)では人道橋や船着場、橋詰広場等を整備して川への回遊を促し、川のあるまちへの表玄関としての景観形成を図ります。

街並みのアクセントや印象的な橋等の景観形成の誘導

- ・人が憩い、川に近づきたくくなるような橋や橋詰空間となるよう景観形成を図ります。
- ・橋は、河川のアクセントとなるものであり、橋上からの眺望景観に配慮しながら、まちかどのランドマークとなるようなデザインの誘導を図ります。

印象的な川辺の添景の創出

- ・川辺に点在する管理施設は、緑化や外壁面のデザインの配慮等により、印象的な川辺の添景となるよう景観形成を図ります。

河川沿いのまちの歴史・文化的資源の保全・活用の促進

- ・吾嬬神社、香取神社等、歴史・文化的資源等を活かした北十間川・横十間川・旧中川沿いの回遊動線を整備します。
- ・ランドマークとなっている香取神社等の大樹を守り継承します。

河川沿いのまちの歴史をとどめる取り組みの促進

- ・北十間川・横十間川は地域の歴史とともにあり、こうした川の存在の歴史性を地区の個性として大切にしていきます。
- ・小村井等はかつて海岸沿いであった地形を表現する地名を尊重し、また現在では失われてしまった地名や忘れられかけている史跡等を発掘します。
- ・過去と未来とが共存するイメージの演出や、記念碑・案内板等の設置等、特色ある景観形成を検討します。

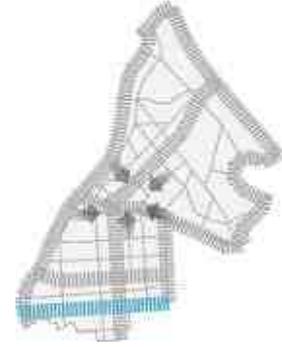


<水辺のオープンギャラリーイメージ>
(出典：北十間川水辺活用構想)

エ． 豎川軸

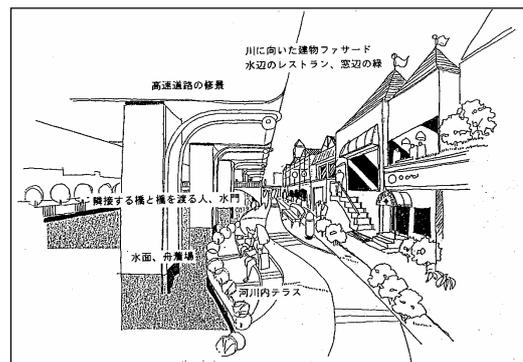
【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

豎川と河川沿いの区域を対象として、高架構造物の修景や高架下の利用により、河川の潤いと周辺居住環境との調和した景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

豎川の水辺空間再生の検討
・ 豎川は、水質の改善や歩行者空間の整備等、水辺空間の再生を図ります。
河川沿いの広場や植栽の工夫による、川を身近に意識できるような景観形成の促進
・ 水辺の豊かな緑を活かして、さらに市街地景観を潤いあるものにするよう、河川沿いの広場や宅地内でも身近な緑を増やします。
・ 河川と調和する街並みを誘導するため、建築物等の色彩や高さの統一、屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
橋等における景観形成の誘導
・ 豎川に架かる橋は、橋や通り、橋詰広場、街並みと続く景観を統一性のあるコンセプトにより形成し、ランドマークとなる景観形成を図ります。
・ 人が憩い、水に親しめる橋詰空間づくりを図ります。
・ 川辺の管理施設は、印象的な添景となる景観形成を図ります。
周辺の街並みに配慮した、高架構造物の高架下利用や修景の検討・促進
・ 高速道路は都市の大動脈である一方、視線を遮る構造物となっており、必要な修景等について検討していきます。
・ 高架構造物の修景や水際のプロムナード等による川側からまちへのアプローチを確保する等、明るい空間演出を推進します。
歴史・文化的街並みを活かした街並み形成の誘導
・ 点在する社寺仏閣等、特色ある近代建築を保全・修景し、相互に結びつけるようにネットワーク化することで、歴史性を持った軸として個性ある景観形成を図ります。
河川沿いのまちの歴史をとどめる取り組みの促進
・ 由緒ある地名を交差点やまちかど広場に命名したり記念碑を設ける等により、まちの成り立ちを継承していきます。



< 高架構造物の修景や沿道建築物のイメージ >

(出典：すみだ風景づくり)

コミュニティ景観軸

ア．北斎通り軸

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

北斎通りと沿道の区域を対象として、錦糸町と両国の広域総合拠点をつなぐ地区にふさわしい都市景観の向上を図るとともに、人々の活動によるにぎわいや活気ある景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

軸の特性を活かした街並み形成の誘導

- ・北斎館の建設に伴い、葛飾北斎の生誕地にふさわしい、活気があり、歩いてみたくなる街並み景観の形成を図ります。このため、建築物等の色彩や高さの統一、屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
- ・地区への表玄関となり人々を迎える場となる錦糸町駅・両国駅とそれに続く周辺地区には、副都心としてふさわしい風格を備えた街並みの形成を図ります。
- ・景観軸や景観ネットワークとの交差点等においては、橋や通り、橋詰広場、街並みが粋と品格とを備えた連続した街並みとなるような景観形成を図ります。

市街地等における緑化の推進

- ・錦糸町・両国の両地区をつなぐ軸として、沿道の建築物のセットバックや緑化を推進し、緑豊かで快適な歩行者空間の形成を図ります。

歴史・文化的街並みを活かした街並み形成の誘導

- ・両国から錦糸町の周りに点在する社寺仏閣や両国駅舎等、特色ある近代建築を活かして、保全・修景し、相互に結びつけるようにネットワーク化することで、歴史・文化性を持った軸として個性ある景観形成を図ります。

まちの歴史をとどめる取り組みの促進

- ・由緒ある地名等を交差点やまちかど広場に命名したり、記念碑を設ける等により、まちの成り立ちを継承していきます。



<北斎通りのイメージ>

イ．大横川親水公園・曳舟川通り軸

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

大横川親水公園と公園沿いの区域及び曳舟川通りと沿道の区域を対象として、コミュニティを活かし、周辺居住環境と調和した景観まちづくりを図ります。

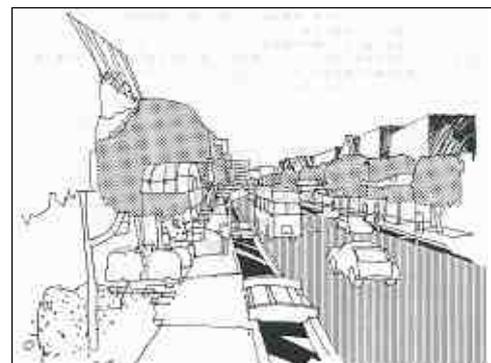


【景観形成の方針】

連続した緑の形成の促進
・街路樹と大横川親水公園の緑、水との連続性を意識し、自然豊かな軸となる景観形成を図ります。
曳舟川通りにおける墨田区のシンボル道路ともなる街並み形成の誘導
・かつて、身近にあった風景のイメージを継承し、緑化や道路整備、電線類の地中化等の推進とあわせた、沿道の建築物の壁面のセットバックや調和の取れた街並みの形成を図ります。このため、建築物等の色彩や高さの統一、屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
大横川親水公園における河川空間を活かした街並み形成の誘導
・大横川親水公園は、緑豊かで、橋からの川筋の眺めや対岸部からの街並みの眺めを大切にしたい、親水公園に表を向けた景観形成を図ります。 ・周辺の公園や市街地と水辺をつなぐ動線空間を出来るだけ多く確保し、人々の交流や眺めを楽しむ、日常的な憩いの場にふさわしい景観形成を図ります。
まちづくりと連動した周辺市街地をつなぐ空間及び動線の整備
・新タワー建設をふまえた周遊ルートにふさわしい連続性や調和の取れた街並みの形成、新タワーの眺望が映える景観形成を図ります。
橋等におけるランドマークとなる景観形成の誘導
・他の景観軸や景観ネットワークとの交差点等においては、橋や通り、橋詰広場が、ランドマークとなるよう景観形成を図ります。
まちの歴史をとどめる取り組みの促進
・まちは長い歴史を持って地名もその時代を反映して変わってきています。それらを交差点やまちかど広場に命名したり記念碑を設ける等により、まちの成り立ちの継承を図ります。



< 大横川親水公園 >

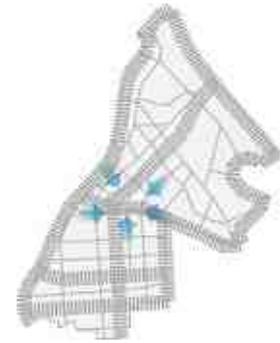


< 親水性のある通りのイメージ >
(出典：すみだ風景づくり)

新タワーへの眺望軸

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

新タワーへの眺めを確保すべき通りや河川を新タワーへの眺望軸と設定し、新タワーの見える軸として、新タワーを意識した、新タワーと通りや河川が調和した景観まちづくりを図ります。



【景観形成の方針】

新タワーへの眺望に配慮した街並み形成の誘導

- ・通りや河川からの新タワーへの眺望に配慮し、建築物等の高さや色彩の調和、屋外広告物等の適切な誘導等により、新タワーが映える、人々に親しまれる通りや河川の景観形成に配慮します。

新タワーからの眺望に配慮した街並み形成の誘導

- ・眺望軸では、新タワー展望台からの眺望に配慮し、街路樹等による緑豊かな軸線の形成や夜間の美しい街路照明の配慮等、すみだのまちが美しく浮き上がる整った景観や潤いある景観形成を図ります。

通りの特性に応じた、新タワーへの眺望に配慮した街並み形成の誘導

- ・南側からの眺望軸について、大横川親水公園はコミュニティ景観軸としての位置づけをふまえ、広がりのある緑の中に新タワーが映える景観形成を図ります。四ツ目通りは、錦糸町と新タワーをつなぐ豊かな街路樹や歩行者空間を備えた、ふれあいと風格の感じられる景観形成を図ります。(仮称)新タワー通りは、新タワーを中心とする遠近感のある、ヒューマンスケールの美しい景観形成を図ります。
- ・東側からの眺望軸について、北十間川沿いは、水と緑の景観軸としての位置づけをふまえ、水辺と新タワーとの調和する空間の景観形成を図ります。
- ・北東側からの眺望軸について、コミュニティ景観軸である曳舟川通りと押上通りは、荒川や向島等と新タワーをつなぐ、にぎわいとふれあいのある景観形成を図ります。
- ・北西側からの眺望軸について、言問通りは、新タワーを中心とする遠近感のある、隅田川とつながるうおいある景観形成を図ります。桜橋通りは、向島料亭街等とつながる、歴史とうおいが感じられる景観形成を図ります。
- ・西側からの眺望軸について、浅草通りは、新タワーと浅草をつなぐ通りとして、豊かな街路樹やにぎわいのある低層部を備えた、風格の感じられる景観形成を図ります。北十間川と川沿いの道路は、東側からも望む眺望軸であり、一体として新タワーとの調和に配慮した景観形成を図ります。



< 北十間川からの眺望景観のイメージ >
(提供：東武鉄道㈱・新東京タワー㈱)



< 通りの眺望景観のイメージ >

景観ネットワーク

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

歴史・文化的資源をつなぐ旧街道や商店街等、区民のふれあいの場となっている通り等を景観ネットワークとして設定し、歴史の継承や文化の創造、地域や観光交流等を促進する場にふさわしい良好な景観まちづくりを図ります。

このため、生け垣や街路樹の整備等により道路の緑化を推進し、歩いて楽しい道づくりに取り組みます。また、道路や高架構造物等のネットワーク化を意識し、墨田区内外の視点から景観づくりに取り組みます。道路や商店街等の活動を基本として、区民・事業者・区が一体となった景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

道路及び沿道空間の緑化の推進

- ・ 主要な歩道においては、道路拡幅あるいは電線類の地中化等とあわせて豊かな植栽空間の確保を図ります。また、沿道の建築物のセットバック等によるスペースの確保を図ります。
- ・ 東京都や墨田区の骨格となる緑のネットワークを形成する通りにおいては、中高木を中心とする緑化を推進します。また、季節に応じた花が咲く街路樹の配置等により、四季を感じる通りとなるよう景観形成を図ります。
- ・ 来訪者をもてなすフラワーロードの整備の推進を検討していきます。

主要な歩行者空間の整備の推進

- ・ 電線共同溝等や無電柱化を進めます。
- ・ のぼり旗等、景観を阻害する不法占用物件等の適切な指導を進めます。
- ・ 歩道整備等にあたって、通りや地域の特性に配慮したデザイン、色彩の選択と調和を図るとともに、地域の意向をふまえつつ、落ち着いた色彩の舗装材の選択を図ります。
- ・ 広幅員道路については、高齢者や障害者が安心して歩くことのできる歩道幅員の確保やユニバーサルデザインにもとづく整備、休憩スペースの確保等、人・もの・環境にやさしい整備を進めます。
- ・ まち歩き観光ルートの形成に資する案内サインの設置を進めます。
- ・ 植込地の管理や路面清掃においては、沿道の住民や地域団体等との連携・協働を進めます。
- ・ 水戸街道や明治通り等、幹線道路では、三角地の活用等による旧道への入口を特徴づけるまちかど広場の整備等、特色ある景観形成を図ります。
- ・ 通りの交差点や広場のある場所では、一息つける場となるポケットパークの整備を進めます。

<p>沿道市街地における良好な景観形成の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道のもつ固有の景観資源を保全・活用しながら、沿道の大規模施設、一般住宅を含めた壁面線の揃った街並みの形成を図ります。 商店・周辺の建築物・通り空間等が一体となったまちかどの景観形成を図ります。このため、建築物等の高さ・色彩の調和や、屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
<p>観光拠点や交通結節点等の景観形成の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹線道路の交差点等がまちの入口として風格と個性を備えるよう、大規模建築物等を中心としてまちを代表する表玄関となる景観形成を図ります。 駅前広場等では、来訪者が個性、親しみ、美しさ等を感じられる景観形成を図ります。また、主要な交差点においては、歩道空間にまちかど広場の整備を検討していきます。
<p>通りにおけるテーマ設定にもとづく特色ある道づくりの整備・誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 各通りの地域性を活かしたテーマにもとづく、個性ある景観形成を図ります。 墨堤通り等、社寺仏閣群のネットワークを形成する軸については、その歴史・文化的背景を活かして、落ち着いたまとまりある景観形成を図ります。 浅草通りや京葉道路等、都市的なにぎわいのある表通りは、低層部を開放的なしつらえにする等、ゆったりとした風格のある通りとなるよう、景観形成を図ります。
<p>商店街における個性ある街並み形成の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣商店の連なるみちは、にぎわいがあり歩行者にやさしいみちとなるよう景観形成を図ります。 大正通り・玉の井いろは通り・立花通り・東あずま本通り等では旧道の歴史性を活かしたデザイン等の景観形成を図ります。 錦糸町駅や両国駅周辺の通りは、多様な道路整備により、まとまりと回遊性のある通りとなるよう、景観形成を図ります。
<p>旧水路や河川沿いの通りの、水や歴史性を活かした景観形成の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 中居堀通りは、並木の育成等により、旧水路であった歴史をイメージさせる第二の自然としてのみちになるよう景観形成を図ります。 河川沿いの通りは、川との境界部の開放、一体化等により水辺を楽しめる潤いあるみちとなるよう景観形成を図ります。 内部の小公園へ向かうプロムナードとして、水と緑のネットワークに配慮した景観形成を図ります。



<街並み形成のイメージ>

(3) 景観拠点の景観まちづくりの方針

都市計画マスタープランにおいて広域総合拠点として位置づけられる錦糸町、両国、押上・業平橋地区では、人々の交流や都市活動の舞台にふさわしい、墨田区の顔となる景観形成に取り組む必要があります。特に、東京を代表するランドマークとなる新タワーが建設される押上・業平橋駅周辺（すみだ中央エリア）は、墨田区のみならず東京を意識した景観形成に取り組む必要があります。

墨田区のイメージを形成するような旧安田庭園や向島百花園では、豊かな緑とともに歴史・文化的資源を活かすとともに、周辺を含めた特性や資源にふさわしい景観形成に取り組む必要があります。

また、隅田公園や荒川四ツ木橋緑地では、豊かな緑や水辺等のそれぞれの有する景観資源を活かすとともに、周辺を含めた特性や資源にふさわしい景観形成に取り組む必要があります。

以上をふまえ、都市景観拠点、歴史・文化景観拠点、自然景観拠点について、以下を対象として、それぞれの特性に応じた景観まちづくりを進めます。

	分類	対象
都市景観 拠点	ア．錦糸町駅周辺	錦糸町駅を中心とするエリア
	イ．両国駅周辺	両国駅を中心とするエリア
	ウ．押上・業平橋駅周辺 （すみだ中央エリア）	新タワーを中心とするエリア
	エ．曳舟駅周辺	東武曳舟駅、京成曳舟駅を中心とするエリア
	オ．吾妻橋周辺	区役所周辺を対象とするエリア
歴史・文化 景観拠点	ア．旧安田庭園	旧安田庭園及びその周辺
	イ．向島百花園	向島百花園及びその周辺
自然景観 拠点	ア．錦糸公園	錦糸公園及びその周辺
	イ．横網町公園	横網町公園及びその周辺
	ウ．隅田公園	隅田公園及びその周辺
	エ．東白鬚公園	東白鬚公園及びその周辺
	オ．荒川四ツ木橋緑地	荒川四ツ木橋緑地及びその周辺

都市景観拠点

ア．錦糸町駅周辺

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

錦糸町駅を中心とする概ね、蔵前橋通り、大横川親水公園、横十間川、豎川に囲まれた範囲を対象とします。墨田区の広域総合拠点であり、亀戸とともに副都心であり区の表玄関として、また、錦糸公園等の緑による潤いや環境美化等の活動により人々が行き交うコミュニティの拠点として、にぎわいある景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

副都心としての良好な景観形成の誘導

- ・副都心にふさわしいまちとして、地域のルールづくりにもとづく、風格を備えた街並みを形成するとともに、建築物等の高さ・色彩の調和や屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
- ・大規模敷地における高層建築物については、道路からのセットバックや植栽の配置等による量感の緩和や、形態・色彩・材質等に既存の街並みのモチーフを取り入れる等、周辺の街並みとの調和を図ります。

高架構造物の修景の検討・促進

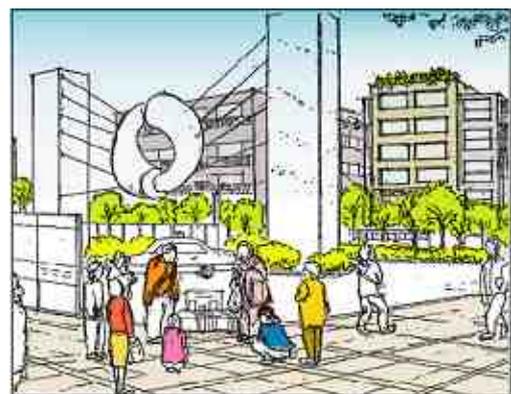
- ・JR総武線は、都市の大動脈としての性格をふまえながら、街並み景観の分断を和らげるための修景を図ります。

多彩な文化が感じられる、にぎわいとてなし空間の整備・誘導

- ・まちかどや辻(十字路)では、壁面後退・公開空地等により、人々が集い、多様な活動のできるゆとりある広場の創出を図ります。
- ・大規模施設周辺等を、親しまれるまちの目印や印象的な空間となるよう、芸術作品を中心に据えたまちかどの整備等により、魅力的な都市空間の形成を図ります。
- ・訪れる多様な人々を迎える駅舎の大空間や駅前の広場、区の表玄関として内外に誇れる特色ある空間の創出を図ります。

通りを活かした、歩いて楽しい回遊動線の確保

- ・ゆとりある敷地の一部の公開や、地域コミュニティの共有する集いの場の創出、訪れた人が回遊し休息できる商業施設の立地誘導を図ります。



< 錦糸町駅前のイメージ >

イ．両国駅周辺

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

両国駅を中心とする概ね、隅田川、豎川、蔵前橋通り、清澄通りに囲まれた範囲を対象とします。墨田区の広域総合拠点であり、区の表玄関として、両国国技館・江戸東京博物館等の日本の文化拠点や旧安田庭園・横網町公園等の自然・歴史・文化的資源と連携した伝統文化の感じられる、風格ある景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

区の表玄関にふさわしい良好な景観形成の誘導

- ・区への表玄関であると同時に隅田川への表玄関として重視し、川への動線上の結びつきに配慮した景観形成を図ります。
- ・都市景観拠点にふさわしいまちとして、風格を備えた街並みを形成するとともに、建築物等の高さ・色彩の調和や屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
- ・訪れる多様な人々を迎える駅舎の大空間や駅前の広場、区の表玄関として内外に誇れる特色ある空間の創出を図ります。

歴史・文化の感じられる、おもてなしの公共的空間の整備・誘導

- ・区民や墨田区内外からの来訪者が集い、交流する場にふさわしい景観形成を図ります。
- ・まちかどや辻(十字路)では、壁面後退・公開空地等により、人々が集い、多様な活動のできるゆとりある広場の創出を図ります。
- ・大規模施設周辺等を、親しまれるまちの目印や印象的な空間となるよう、芸術作品を中心に据えたまちかどの整備等により、魅力的な都市空間の形成を図ります。
- ・様々な歴史・文化や、“新しいファッション”に出会いながら自由に散策できるみちの創出を図ります。

隅田川、両国橋等の水辺を身近に感じられる景観形成の誘導

- ・両国駅や両国国技館、旧安田庭園等の歴史・文化資源と隅田川との回遊動線を整備し、歴史・文化の感じられる街並みの形成を図ります。

日本の伝統文化を感じられる景観形成の誘導

- ・両国国技館・相撲部屋等の伝統的文化資源や、社寺仏閣・東京都慰霊堂等の歴史的資源、コミュニティ施設・産業施設等の個性的景観要素を連携するとともに、これまで親しまれてきた歴史・文化的行事、四季折々の風物の継承に配慮した景観形成を図ります。



< 両国駅前のイメージ >

ウ．押上・業平橋駅周辺（すみだ中央エリア）

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

新タワーの建設エリアを中心とする概ね、浅草通り、押上通り、桜橋通り、小梅通り、言問通りに囲まれた範囲を対象とします。墨田区の広域総合拠点であり、区の中央部にあり、新タワーによりもたらされる先進的な都市空間、北十間川両岸の潤いある屋外空間、また周辺市街地における歴史の感じられる風景の創出による景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

<p>先進さと潤い、歴史の香る風景として、新旧を合わせた景観形成の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新タワー建設を契機に新しい下町の景観を創出していきます。新タワーによりもたらされる先進的な都市空間、北十間川両岸の潤いある屋外空間、また周辺市街地における歴史の感じられる風景の創出を目指します。このため、建築物等の高さ・色彩の調和や屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
<p>すみだらしいもてなしの下町景観形成の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅草通りや押上通り、曳舟川通り等の幹線道路沿いにおいては、沿道の商店街と歩行者空間が一体となった下町らしい歴史や文化の感じられる景観を育て、多くの来訪者でにぎわう街並み形成を図ります。
<p>多くの人でにぎわう屋外景観の整備・誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場、街路、公園等は、多くの人々の活動が見える地域に開かれた商業施設や居心地のよい屋外空間の創出を図ります。
<p>新タワーをシンボルとした新しい都市景観の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業区域内の開発計画を中心として、先進的で新しい都市景観を創出していきます。特に新タワーをエリアの景観のシンボルとします。
<p>水と緑に親しめる水辺景観の整備・誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北十間川とその両岸を中心として、各所に木陰や座れるスペースをつくり、デッキ整備等により河川の水際に近づけるようにする等、人々が心地よく憩える親水空間を形成していきます。



<統一感ある沿道の商店街とにぎわいのある歩行者空間イメージ>



<京成橋から望むタワー方向に広がる北十間川親水空間のイメージ>

(出典：押上・業平橋地区まちづくりランドデザイン)

エ．曳舟駅周辺

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

東武曳舟駅、京成曳舟駅を中心とする概ね、明治通り、水戸街道に囲まれた範囲を対象とします。墨田区の広域拠点であり、まちの表玄関としてふさわしい場所として、歴史と新しさが融合した景観まちづくりを進めます。



〔景観形成の方針〕

市街地再開発事業における景観形成の誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・曳舟駅周辺の市街地再開発事業等のまちづくりにおいては、樹木や広場を設ける等、周辺の街並みと調和した個性ある景観形成を図ります。このため、建築物等の高さ・色彩等の調和や屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
下町の商店街と新しい街並みとが共生する良好な景観形成の誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・駅施設の建設にあたっては、まちの表玄関となるようなデザインによる景観形成を図ります。 ・まとまりのある商店街の街並みを形成するとともに、広場等に水に親しむ空間をつくる等、水を活かした景観形成を図ります。
人々が楽しく集い、ふれあう、豊かな公共的空間の整備・誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・文化拠点・日常的な地域拠点として、下町商店街の親しみある街並み景観を活かした個性ある景観形成を図ります。 ・まちかどや辻(十字路)では、壁面後退・公開空地等により、人々が集い、多様な活動のできるゆとりある広場の創出を図ります。 ・大規模施設周辺等を、親しまれるまちの目印や印象的な空間となるよう、芸術作品を中心に据えたまちかどの整備等により、魅力的な都市空間の形成を図ります。
歴史・文化資源を活用した街並み形成の誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・香取神社・香梅園、向島橋銀座商店街等、特色ある歴史・文化資源を保全・活用し、相互に結びつけるようにネットワーク化することで、文化性を持った軸として個性ある景観形成を図ります。
高架下空間における利用と魅力化の促進
<ul style="list-style-type: none"> ・高架下空間は周辺土地利用に応じ、地域に親しまれる利用と魅力的な都市空間の形成を図ります。 ・敷地の一部を広場や通り等として公開し、地域の共有する集いの場を創出します。



< 曳舟駅前地区第一種市街地再開発事業
完成予想図 >
(出典：都市再生機構)

オ．吾妻橋周辺

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

吾妻橋周辺を対象とします。墨田区の広域拠点であり、区役所やアサヒビール社屋等のランドマーク性を活かし、浅草からのまちの表玄関として、来訪者を迎えるとともに、区民が日常的に交流する安心で快適なコミュニティ形成の場として、にぎわいと風格ある景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

区民が日常的に訪れる、安心で快適な公共的空間の整備・誘導

- ・区民の文化や交流の拠点となる施設や周辺の商店街の親しみある街並み景観を活かし、個性ある景観形成を図ります。このため、建築物等の高さ・色彩等の調和や屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
- ・まちかどや辻(十字路)では、壁面後退・公開空地等により、人々が集い、多様な活動のできるゆとりある広場の創出を図ります。
- ・ゆとりある敷地の一部を公開し、地域で共有できる集いの場を創出していきます。

浅草からのまちの表玄関となる、にぎわいある良好な景観形成の誘導

- ・風格を備えた街並みを形成するとともに、屋外広告物等の適正な誘導を図ります。
- ・区役所等のあるリバーピアをランドマークとして位置づけ、隅田川に架かる橋と隅田川の水辺空間を活かした景観形成を図ります。

水辺と連続した潤いや楽しさのある通りの整備

- ・水辺空間へのアクセス拠点として川への動線上の結びつきを強化していきます。

多くの人が回遊し憩うことのできる商店街の整備・誘導

- ・まちの表玄関にふさわしい、商店街を活かしたにぎわいある景観形成を図ります。



< 吾妻橋周辺のイメージ >

歴史・文化景観拠点

ア．旧安田庭園

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

旧安田庭園及びその周辺を対象とし、貴重な歴史・文化資源や貴重な緑を活かすとともに、両国駅周辺市街地や隅田川とのつながり・調和に配慮して、区民や来訪者が楽しむ場として良好な景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

庭園の豊かな緑や歴史・文化的景観の保全・活用

- ・元禄年間に隅田川の水を引いた潮入回遊式庭園としてつくられた江戸名園としての歴史・文化的景観の保全・活用を図ります。

周辺市街地における緑化の誘導

- ・敷地外周部では、公園の緑と調和するよう緑化を図り、公園の緑との連続性を確保し、潤いのある空間の創出を図ります。建築物等の屋上緑化や壁面緑化を行い、都市における緑を創出していきます。

公園周辺における良好な周辺景観の形成の誘導

- ・旧安田庭園周辺の建築物等は、公園等と一体となった良好な街並みの形成を図るとともに、公園内からの良好な眺望の確保を図ります。このため、公園周辺に立地し、公園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩、屋外広告物等を適正に誘導する等、周辺景観を誘導します。



< 旧安田庭園 >

イ．向島百花園

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

向島百花園及びその周辺を対象とし、江戸庶民の行楽の場としての歴史の継承に配慮しつつ、墨田区の観光拠点及び区民に親しまれる地域資源として、周辺市街地を含めた良好な景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

すみだの原風景を伝える自然環境等の維持・保全の推進

- ・江戸の粹人、佐原鞠塙が開園したかつての新梅屋敷等、歴史・文化的資源を活かした空間の維持・保全を図ります。
- ・すみだの原風景を伝え、四季折々の草花等、自然を楽しむことができる緑の維持・保全を図ります。

周辺市街地における緑化の誘導

- ・敷地外周部では、公園の緑と調和するよう緑化を図り、公園の緑との連続性を確保し、潤いのある空間を創出していきます。建築物等の屋上緑化や壁面緑化を行い、都市における緑を創出していきます。

公園周辺における良好な周辺景観の形成の誘導

- ・向島百花園周辺の建築物等は、公園等と一体となった良好な街並みの形成を図るとともに、公園内からの良好な眺望の確保を図ります。このため、公園周辺に立地し、公園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩、屋外広告物等を適正に誘導する等、周辺景観の誘導を図ります。
- ・周辺の社寺仏閣や史跡等の歴史・文化的資源と連携し、回遊動線を整備します。その際、沿道の街並みや公園、河川沿い空間等において、歴史・文化を基調とした魅力ある景観の創出を図ります。



< 向島百花園 >

自然景観拠点

ア．錦糸公園

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

錦糸公園及びその周辺を対象とし、復興三大公園のひとつとしての歴史をふまえながら、まちなかのまとまった貴重な緑を備えた開放感とやすらぎを得られる空間として、周辺市街地を含めて、豊かな緑を保全・活用した景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

公園の豊かな緑の維持・保全

- ・市街地に潤いを与えるとともに、良好な都市環境の形成に寄与する緑として、維持・保全を図ります。
- ・錦糸町駅や周辺集客施設を有機的に結びつける園路や集い憩える広場として、復興の歴史を伝えるとともに活動的なレクリエーション拠点となるような景観形成を図ります。

周辺市街地における緑化の誘導

- ・敷地外周部では、公園の緑と調和するよう緑化を図り、公園の緑との連続性ある潤いのある景観形成を図ります。また建築物等の屋上緑化や壁面緑化を行い、都市における緑を創出していきます。

公園周辺における良好な周辺景観の形成の誘導

- ・錦糸公園周辺の建築物等は、公園等と一体となった良好な街並みの形成を図るとともに、公園内からの良好な眺望の確保を図ります。このため、公園周辺に立地し、公園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩、屋外広告物等を適正に誘導する等、周辺景観の誘導を図ります。



< 錦糸公園 >

イ．横網町公園

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

横網町公園及びその周辺を対象とし、貴重な歴史・文化資源や貴重な緑を活かすとともに、両国駅周辺市街地や隅田川とのつながり・調和に配慮して、区民や来訪者の憩いの場として良好な景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

公園の豊かな緑や花の維持・整備
<ul style="list-style-type: none"> ・横網町公園における豊かな緑の維持・保全を図ります。また、園内には、花による演出がされる等、彩りある空間の維持・整備を図ります。 ・旧安田庭園とつながり、広がりのある緑空間が感じられる景観形成を図ります。
公園の豊かな緑や歴史・文化的景観の保全・活用
<ul style="list-style-type: none"> ・関東大震災の被災者の供養や東京復興事業の記念のための東京都慰霊堂や復興記念館等、歴史・文化的建造物と一体として、墨田区の歴史を区民や来訪者に伝える場として保全・活用を図ります。
周辺市街地における緑化の誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・敷地外周部では、公園の緑と調和するよう緑化を図り、公園の緑との連続性を確保し、潤いのある空間の創出を図ります。建築物等の屋上緑化や壁面緑化を行い、都市における緑を創出していきます。
公園周辺における良好な周辺景観の形成の誘導
<ul style="list-style-type: none"> ・横網町公園周辺の建築物等は、公園等と一体となった良好な街並みの形成を図るとともに、公園内からの良好な眺望の確保を図ります。このため、公園周辺に立地し、公園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩、屋外広告物等を適正に誘導する等、周辺景観を誘導します。



< 横網町公園 >

ウ．隅田公園

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

隅田公園及びその周辺を対象とし、帝都復興事業によりつくられた公園としての歴史性や隅田川、墨堤の桜との調和に配慮した良好な景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

公園の豊かな緑や桜並木の維持・整備

- ・ 隅田公園における豊かな緑の維持・保全を図ります。また、墨堤の桜並木について「花見の名所」にふさわしい空間の維持・整備を図ります。
- ・ 河川沿いの公園であり、川を身近に感じる緑と水に親しめるオアシスとしての景観形成を図ります。
- ・ 隅田川とつながる川辺のレクリエーションスペースとなるよう景観形成を図ります。

公園の歴史・文化的位置づけの継承

- ・ 帝都復興事業によりつくられた公園として、歴史・文化的な位置づけを伝える日本庭園等を活かした景観形成を図ります。

周辺市街地における緑化の誘導

- ・ 敷地外周部では、公園の緑と調和するよう緑化を図り、公園の緑との連続性を確保し、潤いのある空間を創出していきます。

公園周辺における良好な周辺景観の形成の誘導

- ・ 隅田公園周辺の建築物等は、公園等と一体となった良好な街並みの形成を図るとともに、公園内からの良好な眺望の確保を図ります。このため、公園周辺に立地し、公園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩、屋外広告物等を適正に誘導する等、周辺景観の誘導を図ります。



< 隅田公園 >

エ．東白鬚公園

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

東白鬚公園及びその周辺を対象とし、防災拠点及び貴重な自然・空地として、普段からイベント等で防災設備を利用するなど防災性を高めつつ、周辺市街地との連携に配慮し、良好な景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

隅田川等と調和する豊かな緑の維持・保全

- ・隅田川に沿うような形状を活かし、レクリエーションの場として隅田川との一体性に配慮し、緑によるつながりや回遊性を高めていきます。
- ・公園に隣接する高層住宅の環境の向上や、防災拠点としての機能に対応した緑の維持・管理を図ります。

周辺市街地における緑化の誘導

- ・敷地外周部では、公園の緑と調和するよう緑化を図り、公園の緑との連続性を確保し、潤いのある空間を創出します。また、建築物等の屋上緑化や壁面緑化を行い、都市における緑を創出していきます。

公園周辺における良好な周辺景観の形成の誘導

- ・東白鬚公園周辺の建築物等は、公園等と一体となった良好な街並みの形成を図るとともに、公園内からの良好な眺望の確保を図ります。このため、公園周辺に立地し、公園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩、屋外広告物等を適正に誘導する等、周辺景観の誘導を図ります。

梅若伝説や多聞寺の周辺の歴史・文化的資源の保全・活用の促進

- ・梅若伝説や多聞寺等の歴史・文化的資源等とネットワーク化を図り、回遊動線の整備を図ります。



< 東白鬚公園 >

オ．荒川四ツ木橋緑地

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

荒川四ツ木橋緑地及びその周辺を対象とし、区民のスポーツ・レクリエーションの拠点として位置づけ、開けた眺望を活かし、自然環境の保全を基本としながら、周辺市街地との連携に配慮し、良好な景観まちづくりを進めます。



【景観形成の方針】

スポーツ・レクリエーション拠点にふさわしい景観形成の誘導

- ・河川敷の公園であり、川を身近に感じる緑と水に親しめるオアシスとしての景観形成を図ります。
- ・荒川将来像計画にもとづき、河川敷をスポーツ・レクリエーションの場として活用を進める区域と多自然型空間として保全する区域とを区分し、自然景観の保全と活用を図ります。
- ・スーパー堤防の整備により、避難地としての安全性を確保するとともに、周辺市街地との一体的な景観形成を図ります。

広々とした眺望景観の形成の誘導

- ・荒川河川敷一帯は、開けた眺望の広大な空間であり、様々なスポーツ・レクリエーションが楽しまれていることから、川らしい開放感のある空間の持ち味を活かした建築物・土木構造物の形態・意匠の誘導を図ります。

周辺市街地における良好な周辺景観の形成の誘導

- ・周辺の建築物等は、荒川の河川と河川敷の緑地とが調和した良好な街並みの形成を図るとともに、公園内からの良好な眺望の確保を図ります。このため、緑地の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩、屋外広告物等を適正に誘導する等、周辺景観の誘導を図ります。



< 荒川四ツ木橋緑地 >

(4) 景観エリアの景観まちづくりの方針

社寺仏閣や史跡等の歴史・文化資源が多く集まっている地域では、すみだの歴史を伝える落ち着いた街並みとして、景観形成に取り組む必要があります。

墨田区は北部と南部で街並みの特性が異なり、また、向島や京島等については、ふれあいや息づかいのあるすみだらしい下町の街並みの中で、人々の暮らしが営まれており、これらの特性に応じた景観形成に取り組む必要があります。

駅前では、まちの表玄関として毎日多くの人々が行き交う場として、ふさわしい景観形成に取り組む必要があります。

商店街では、人々のふれあいや交流が生まれ、まちの活気を生み出す場として、景観形成に取り組む必要があります。

このため、歴史・文化ゾーン、一般市街地ゾーン、駅前ゾーン、商店街ゾーン等それぞれの地域の特性に応じた景観まちづくりを図ります。なお、これらの具体的なゾーン区分については、今後の地域のまちづくりとあわせて設定していきます。

分類	対象となる地区のイメージ
歴史・文化ゾーン	向島料亭街、隅田川七福神等
一般市街地ゾーン	北部・南部の特性を有するそれぞれの地域
駅前ゾーン	八広駅、鐘ヶ淵駅、菊川駅等
商店街ゾーン	地域の商店街等

歴史・文化ゾーン

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

向島料亭街や隅田川七福神等の江戸時代からの歴史性の残るまちや歴史・文化資源を街並みに活かして、建築物の高さの統一や色彩の調和を図りながら、これまで積み重ねられてきた歴史や文化を継承した景観まちづくりを進めます。

【景観形成の方針】

歴史・文化的資源に配慮した景観形成の誘導

- ・まちの成り立ちの面影を残している通りや周辺に点在する社寺仏閣、由緒ある場を発掘・再発見し、保全・修景を図ります。
- ・多くの文人墨客に親しまれ、小説や芝居の舞台ともなった向島料亭街の歴史や伝統を活かし、墨堤の桜と料亭の印象的な姿が重なり合う風情ある風景の創出を図ります。
- ・境内の大樹や緑を街並みのランドマークとして活かしていきます。

歴史・文化を基調とした街並み形成の誘導

- ・「歴史と文化の散歩道」「隅田川七福神」のように、点在する社寺仏閣・史跡等を連携し、人々が楽しめる回遊動線の整備を図ります。回遊動線では、ポケットパークの整備やモニュメントの設置、周辺道路の修景等を進めます。
- ・水辺を身近にする取り組みと連携し、各時代の歴史・文化的資源を活かすことにより、河川沿いの街並みの修景を図ります。
- ・歴史・文化資源や歴史を伝える街並みに配慮し、建築物等の高さの統一、色彩の調和、屋外広告物等を適正に誘導する等、調和のとれた街並みの形成を図ります。

地域の核となるような景観形成の誘導

- ・社寺仏閣の境内や大樹等、地域コミュニティ形成の核となってきた空間を継承し、周辺にも配慮しながら共有の広場としての活用を図ります。

まちの歴史・文化の継承の推進

- ・かつての武家屋敷庭園や産業発祥地、掘割河川等の歴史・文化的特性や姿を活かすため、これらの記念碑や案内板等の設置、デザインモチーフや施設名に活用していきます。
- ・「おいてけ堀」のように、伝承としてまちの歴史・文化を伝えるものを、まちの生い立ちを示すものとして大切にしていきます。
- ・まちが持つ長い歴史を反映し、変遷しながらも象徴的に残ってきた地名・橋や通りの名称等については、まちの生い立ちを物語るものとして継承していきます。
- ・墨田区の産業や文化をつくりだしている「小さな博物館」「工房ショップ」「マイスター」からなる3M運動の展開を図り、すみだのものづくりが感じられる景観形成を図ります。

四季の行事やイベント等による歴史・文化の継承の促進

- ・ 四季の節句や祭事にちなむ行事等に適した空間として、境内や河川周辺の整備を検討していきます。
- ・ 祭りや行事においては、多くの人々が訪れることにより活性化を図り、歴史・文化を現代へ受け継ぎます。

まちの伝統文化に配慮した景観形成の誘導

- ・ 地域に育まれた社寺仏閣・公園・公共施設・産業施設等の個性的景観要素の発掘や、これまで親しまれてきた歴史・文化的行事、四季折々の風物に配慮した景観形成を図ります。



< 歴史・文化を基調とした街並みのイメージ >

一般市街地ゾーン

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

落ち着いた生活の場やにぎわいのある商業施設、生業の場としての工場等、多様な市街地の特性にあわせた景観形成を目指します。

なかでも、路地空間の魅力を活かす等、暮らしや歴史に根ざした街並みの継承や調和に配慮するとともに、街路樹・低木等の潤いある歩道整備や、マンション等と周辺市街地との調和に配慮した建築物の高さ・色の統一等により、すみだらしい、人のふれあいを大切にしたい景観まちづくりを進めます。

【景観形成の方針】

北部地域

北部における、下町らしい人間味のある地域景観形成の誘導

- ・土地利用転換や防災不燃化のまちづくりを進める中で、細街路の拡幅整備と合わせたルールづくりを行い、歴史・文化的に培われてきた人間味ある地域景観を見失わないような整備方策を検討していきます。
- ・緩やかにカーブする道の線形や段階的な幅員を継承し、親しみと生活感のある路地空間、隣同士が親しみのある街並みの形成を図ります。
- ・中低層を基本とする、ヒューマンスケールの街並みの形成を図ります。

すみだらしい、下町景観の継承

- ・京島や東向島にみられる趣のある長屋や路地は、防災性向上のもとに、低層を基本とするヒューマンスケールの暮らしが息づいた景観の継承を図ります。

南部地域

南部における、整った基盤と調和した景観形成の誘導

- ・駅周辺では、店舗の集積や建築物のデザインの誘導、公共空間を整備することにより、まちの表玄関として人々に親しまれ、にぎわう商店街のある街並みの形成を図ります。
- ・地域の景観を特徴づけ、歴史性ある碁盤目状の道路パターンを活かし、中高層を基本とする整った街並みの形成を図ります。
- ・街並み景観の単調さにリズムを与えるよう、まちかどを個性的にする建築物のファサード、ちょっと立ち止まれるたまりの場、モニュメントの設置等、地域住民が共有するシンボル空間づくりを図ります。
- ・寺町では、緑豊かな静寂の世界、屋根や塀等の伝統的デザインを継承し、落ち着いた生活のある歩行者にやさしいまちづくりを図ります。

共通する事項

身近な道路や公園における潤いある景観の整備

- ・ 近隣に親しまれる小公園や道路に膨らみを持たせたポケットパーク等のゆとりある空間を数多く創出する等、まちの小さな目印やたまりの場の形成を図ります。
- ・ 公園の個性に合わせて、地域のシンボルとなる空間の創出を図ります。例えば橋詰の公園は落ち着いたある川辺のテラス、公共施設に隣接する公園は施設と一体となって生き生きとした活動が展開される公園、商店街にある公園はにぎわいを引き込むポケットパーク等、公園の特性づくりに配慮していきます。
- ・ 三叉路や五叉路の辻(十字路)や広場では、舗装のデザインや電線類地中化等により、道路・公園等の公共施設の質を高めていきます。
- ・ 潤いとゆとりのある、個性と感性にあふれたまちづくりをめざし、まちかどアートの展開を進めます。

大規模施設における周辺市街地との調和や良好な景観形成の誘導

- ・ 大規模建築物は、周辺の街並みに機能的・動線的・イメージ的にもなじむような配慮を図ります。
- ・ 河川沿いに立地する際には、敷地周囲の緑化や、川に面した公開空地の整備、川におもてを向けた表情ある街並みの形成を図ります。
- ・ 文教・集会施設は、近隣のたまり場となるよう、開放的な環境整備を図ります。
- ・ 建築物等の高さの統一や色彩の調和、屋外広告物等を適正に誘導する等、調和のとれた街並みの形成を図ります。

マンション等の建設における周辺と調和した街並み形成の誘導

- ・ 周辺の街並みから突出しないよう景観に配慮した建築物の高さを誘導します。

高架構造物の修景の検討・促進

- ・ 軸を形成する景観要素として、商店街では商店や駐車場、住宅街では地域施設として高架下を利用し、街並みと調和した利用と修景を図ります。
- ・ 高架下の公園は、明るく安全な公園となるよう、境界部の開放性や低木等により、視界が遮られないような景観形成を図ります。

大規模な工場等における修景の誘導

- ・ 大規模な工場施設では、威圧感の軽減のため、形態の工夫や壁面緑化、敷地周囲の緑化等、周辺市街地との調和に配慮した修景を図ります。
- ・ 低層部は、作業風景が道から見えるような工夫やミニショップを整備する等、視覚的にも機能的にもオープンな形態の誘導を図ります。
- ・ 敷地境界部では、沿道景観に配慮し、視線をつなぎ行き来しやすい低い植栽やボラード等にするよう配慮を図ります。
- ・ ゆとりある空間を活かし、敷地の一部の公開や敷地境界部の後退により歩行者空間の拡充等を図ります。
- ・ 廃棄物やサービス部分は、道路から直接見えないよう景観形成を図ります。

公共建築における先導的な整備、維持管理の推進

- ・公共建築の整備や維持・管理にあたっては、区民が日常的に訪れる地域コミュニティ形成の場としての景観形成、周辺に形成される街並み景観のモデルとなるよう、周辺市街地との調和や良好なデザインによる整備等を図ります。

新タワーから眺められる市街地の景観形成の誘導

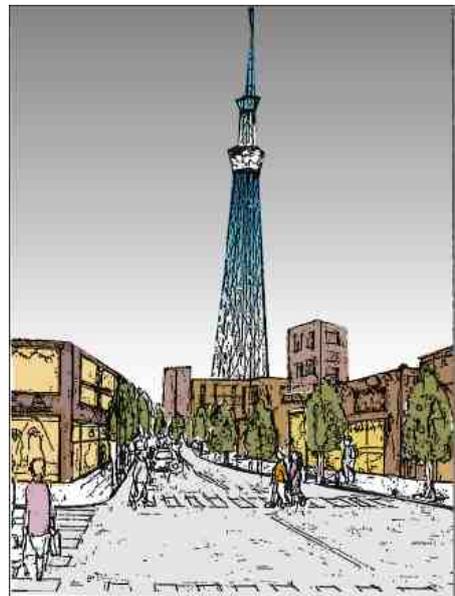
- ・新タワーから眺められる墨田区の市街地を美しい、誇れるものとしていきます。このため、整ったスカイラインの形成、建築物等の屋根等の色彩等における美観の配慮、屋上緑化を含めた緑の確保等を図ります。

安全・安心に配慮した景観形成の推進

- ・歩行者が安全・安心に歩ける歩行者空間や駅前等の広場空間の景観形成を推進します。このため、歩道上の放置自転車対策や捨て看板等の排除によるゆとりある歩行者空間の確保、また、人々のたまりの場となる広場等の創出やオープンスペースの緑化を推進します。

魅力的な夜間景観の形成の誘導

- ・墨田区の都市構造を美しく彩る街路灯の配置や、新タワーを含めたランドマークとなる建築物や橋等のライトアップ等、魅力的な東京の夜景を創出するための誘導を図ります。



< 魅力的な夜景のイメージ >

駅前ゾーン

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

駅と駅周辺商店街や駅前広場等のにぎわいがあり、まちの表玄関となる地域では、周辺の公園等の自然や周辺市街地との調和を図りながら、人々が行き交う交通結節点として、質の高い景観まちづくりを進めます。

【景観形成の方針】

まちづくりや開発等に合わせた駅前の良好な景観形成の誘導

- ・区やまちの表玄関としてにぎわいと親しみやすさのある景観形成を図ります。
- ・河川から近い(0.5m~1km程度)駅は、川への動線上の結びつきに配慮した景観形成を図ります。
- ・地下鉄出入口周辺には、ゆとりある歩行者空間、駐輪場等の確保を図ります。
- ・駅周辺の再開発事業や駅周辺商店街等の整備等と一体となった景観形成を図ります。
- ・建築物等の高さの統一や色彩の調和、屋外広告物等を適正に誘導する等、調和のとれた街並みの形成を図ります。

駅周辺におけるおもてなしにふさわしい景観形成の誘導

- ・鐘ヶ淵駅と八広駅周辺は、観光振興プランに位置づけられる観光拠点エリアにふさわしい景観形成を図ります。
- ・駅前の広場は、待ち合わせや集会の場としてふさわしい景観形成を図ります。

駅周辺における個性ある景観形成の誘導

- ・鐘ヶ淵駅周辺では、梅若伝説や多聞寺等の歴史・文化的資源等を活かした個性ある景観形成を図ります。



< 駅前の立体交差のイメージ >



< 駅前広場のイメージ >

商店街ゾーン

【対象区域と景観まちづくりの基本的方向】

主に商店街が広がり多くの人が集い、交流する地域では、長い歴史を持つ商店街の人と人との親密な距離感や活気を活かすとともに、水や緑等により、沿道景観の魅力を高めるなど、商店街として一体性ある景観まちづくりを進めます。

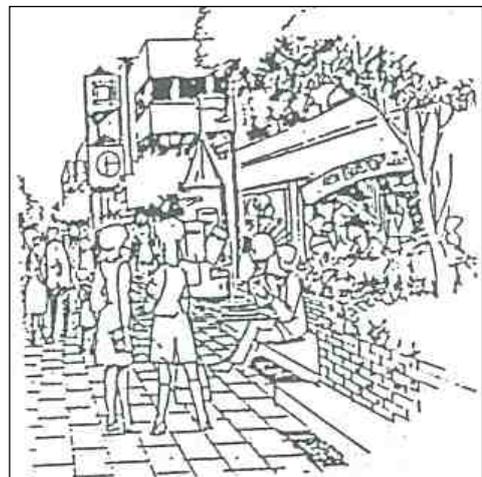
【景観形成の方針】

商店街ごとの個性を活かした街並み形成の誘導

- ・商店街ごとの個性ある街並みの形成を図ります。
- ・居住環境整備の一貫として地域拠点の形成を図るため、店舗の立地と集積の促進を図ります。
- ・中居堀通り等は、旧水路であった歴史を活かし、水や歴史性のイメージをテーマとしたデザイン等の導入を進めます。
- ・大正通り・玉の井いろは通り・立花通り・東あずま本通り等では旧道の歴史性を活かした景観形成を図ります。
- ・各商店街の入口等では、表玄関となる街並みの形成を図ります。
- ・建築物等の高さの統一や色彩の調和、屋外広告物等を適正に誘導する等、調和のとれた街並みの形成を図ります。
- ・商店・周辺建築物・通り空間等が一体となった個性ある良好な街並みの形成を図ります。

歩きやすい歩行者空間の整備

- ・歩きやすく休憩やイベントの場となる歩行者空間の整備を図ります。
- ・潤いを感じさせる水や緑、歴史性等を演出し、沿道景観の魅力を高める歩行者空間づくりを進めます。
- ・ゆとりある集いの場を設けるとともに、新しい文化を創造する情報拠点としての機能を導入する等、魅力ある商店街づくりとあわせた景観形成を図ります。



<商店街のイメージ>
(出典：すみだ風景づくり)